

## 意味を持った“垂”の例

原

雁垂 ? は“がん”の音を持っています。崖の形を表わした字で、崖の意味の部首です。

原 = 厂から泉の噴き出る“みなもと”を表わした字で、“源”の本字です。後に高くて平らな所(崖の上の平地) = 高原の意味に用いられたため、源の字が作られました。

店

麻垂 <sup>まだれ</sup> 片方が開放された家の象形で、広い家の意味の部首です。

店 = 人が自由に出入りできる開放された家、つまり“みせ”です。音は占(点)で、会意・形声字。

病

病垂 <sup>やまいだれ</sup> 人が病気で寝ている象形です。病気の意味の部首。

痛 = 病気であることを通信してくれる“いたみ”で、会意字です。音は甬<sup>つう</sup>なので、形声字でもあります。

房

戸垂 開き戸の意味の部首。

房 = 四方に開き戸の設けられた部屋。音は方で、会意・形声字です。

屈

戸<sup>しかばね</sup> 人の意味の部首です。人がのびのびと手足を伸ばしている象形です。

屈 = 昔の家の出口は小さな穴でした。人は出る時、身をかがめなければなりません。人<sup>に</sup>と出るとで、“かがむ”の意味を表わした会意字です。